



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE
T O S Y ' S
東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2026 年 10 月号ブリテン 第 428 号

会長 大谷博愛
副会長 荻光彦
書記 今村由紀
会計 大森裕子
直前会長 小山久恵
担当主事 杉田裕樹

2026-2027 度主題 (Thema)

Our Motto 国際標語
国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク
アジア太平洋会長 ラチャン・マニカーン
東日本区理事 山下 真
あずさ部部長 大和田 浩二
サンライズ会長 大谷 博愛

IBC: 台北ユニオン DBC ; 東広島・京都プリンス

「YMI — 人生を力づける」
「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」(フィンランド)
「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」(タイ)
「挑戦なくして進化なし」(十勝)
「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう」(松本)
「クラブをオープンにして友だちの輪を広げよう」

10 月第一例会のお知らせ

とき 10月8日(木) 17:00~19:00
ところ 東京 YMCA 山手センター
かいひ 500 円

◆ プログラム

開会点鐘 会長

ワイズソング・ワイズの信条 一同

卓話 『異文化交流の意義』

卓話者 小泉幹人氏(山手学舎舎生)

・早稲田大学学生。大学のプログラムで1年間
タイに留学。この経験から学んだことを伺います。

協議・報告・連絡事項 会長・各担当者

にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員

閉会点鐘 会長

10 月以降の予告

10月17~18日 ブルーミュージック・キャンプ
ファイヤー 於山中湖センター

10月20日 第二例会

9 月のハッピーバースデー

柴田弘子さん 10月24日

9 月例会出席者

サンライズ

在籍数：12 名

出席者：6 名

出席率：50%

メネット 1 名

ビジター 7 名

9 月第一例会の報告

長津 徹

9月17日木曜日、通常なら第二木曜日9月10日のところペナン国際大会とかぶったためこの日となった。

高田の馬場駅でバスの連絡が悪く17時定刻を数分遅刻



したが丁度そのくらいの遅れて例会も始まった。クラブ員が少ないため会長自らの司会にて、開会点鐘・ワイズソング・信条・ゲスト紹介の後さっそく卓話を開始となった。

今回は八王子クラブ

の並木真区ユース事業主任から区ユース事業について語

っていただいた。父君並木信一氏は元東京 YMCA 副総主事、任地の宇都宮をベースに幼少より栃木 YMCA で育ったミスターユース、リーダーOBともいうべきか。アジア学院のボランティア活動から始まり、YMCA リーダー時代をへてワイズメンとなり、八王子クラブが深く関わりを持ってきた中央大学



YMCA ひつじぐもとの関係なども含め様々なお話をいただいた。今回はゲストもリーダーOBが多く、大谷、



長津と OB だらけの会となった。テイスティングタイム・各種報告・ニコニコと続き、

無事閉会点鐘にて閉会した。



その後は伊丹亭にて楽しい話題で盛り上がった。

出席者： 今村、大谷、立田、長津、長津（絹子）

深田さん（参遊会）

ゲスト 八王子クラブ 久保田さん、並木さん、長谷川さん、秋田さん

ワイドウエストクラブ 山口さん、渡邊さん

北海道部会・十勝クラブ 50 周年例会報告

大谷 博愛

8 月 28 日から 31 日にかけて北海道部会・十勝クラブ創立 50 周年記念例会が行われました。区大会など大きなイベントは前夜祭・大会・エクスカーションがワンセットで行われますが、ホストした十勝クラブが創立 50 周年であったため、一つ一つがそれぞれメインイベントのように私には感じられました。

前夜祭は 28 日ホテル日航ノースランド帯広で十勝クラブ創立 50 周年記念例会として行われました。進行は十勝クラブとトライアングルを組む台湾ダウンタウンクラブ、京都ウエストクラブの 3 クラブ交歓会を中心に参加者全員を巻き込む形で進められ、抽選会や余興もあっ

て終始和やかな空気に包まれました。料理は北海道ならではの質と量でおなか一杯いただき、分厚くカットされた柔らかな肉質の美味しいステーキがいくつも残るほどでした。この日は晴れていたものの前夜の豪雨の影響で北海道の JR



各線がストップしたため、空路で来た北海道以外の人と十勝クラブのメンバーだけという奇妙な現象になりました。それでも参加者は 66 名で盛り上がりには欠けることはありませんでした。

翌 29 日朝、みんな一緒にホテルからバスで部会が開かれる中札内グランピングリゾートに向かいました。東京ドーム 25 個分という緑豊かな広大な敷地にキャビンが点在する宿泊エリアや馬が放牧されている牧場などがあり、北海道部会はこの中のセンターハウスで行われました。矢竹克年部長の開会点鐘で始まり一般社団法人青島舎・代表理事小川洋輝氏による障害児教育についての講演がありました。来賓としてチャーターメンバーの林育雄さんがご高齢にも拘らず車椅子で出席されていました。この方は十勝クラブのじゃがいもファンドの基礎を



作った方だそうです。夕食は野趣あふれる中でワイワイガヤガヤのバーベキューであたかも西部劇の一コマに迷い込んだ気にさせてくれました。



た。交通マヒが回復してこの日から参加した北海道の各クラブの人たちや十勝クラブの

DBC 江東クラブからも数人が加わり、参加者は総勢 107 名に上りました。

翌30日は高原を思わせる林の中でさわやかな朝を迎え、朝食を食べてすぐに然別湖(しかりべつこ)へのエクスカージョンに出発しました。ダイナミックな大雪山国立公園の中をバスは走り、然別湖に到着すると遊覧船に乗り換え湖上の旅を楽しみました。人間に荒らされていない原生林が迫ってくる湖に浮かんでいると神秘の懷に抱かれた不思議な気持ちになりました。北海道に生まれ育った私でも圧倒される北海道の雄大な自然の広がりを感じさせてくれたエクスカージョンは、これ自体が大きなイベントと言ってもいいくらいのものでした。

ペナン国際大会

小山 久恵

9月9日、日付が変わろうとする頃、羽田を発ち、早朝にシンガポールに到着、乗り換えて、ペナンに無事到着しました。ホテルのチェックインまでかなり時間があり、何もすることがなく、ロビーで時間を潰していました。予定より早くチェックインができ、部屋に入る事ができました。



16時から厳かなフラッグセレモニーで、開会式が始まりました。講演、スピーチの類はサボり、1日目の晩餐会は、ビュッフェスタイルでしたが、ちょっと出遅れて、私が行った時はほとんどなくなっていました。横浜

での国際大会を思い出しました。ワイズの集まりでの食べ物の恨みは、記憶にいつまでも残ります。

2日目はゲームで、知らない人達とチームを組み、童心に帰り、楽しみました。グループの人達と、知り合いになり、良かったです。この日の晩餐会は国際会長の食事会で、着席だったため、食べはぐれる事はなく、美味しくいただきました。

3日目は、エクスカージョンでしたが、お寺が見える所と、ケーブルカーに乗って、行き着いた所の2ヶ所だけ。何の説明もなく、ケーブルカーの順番待ちで、時間を取られてしまいました。最後の夕食は、ビュッフェで、ちょっとがっかり。この時、お国の衣裳を着て、フ



ァッションショーがありました。日本人は浴衣、はっぴ、着物、羽織などを着ていました。今回はアフリカから大勢のメンバーが参加していて、衣裳も華やかでした。

最終日はプログラムには出ず、終わる頃に会場に出向き、お別れの挨拶をしました。

私達はもう一泊して、翌日シンガポールを観光して帰国しました。帰って熱が39、6度も出てしまいました。

富士山例会

御園生 好子

9月26日は朝から雨。夕方になっても雨は上がりず室内でのバーベキュー例会となりました。42名の参加者の笑顔溢れる交流例会となりました。

FF弾き語りのライブで盛り上がり、富士五湖クラブさんのおもてなしのガラガラポンでは素敵な商品が全員に当たり、一時も飽きさせることのない運営は流石、富士五湖クラブさんと感心しました。

翌日は曇っていたのでご来光登山は無し。その代わり雲

海が素晴らしく 20 年近く毎年参加していますがこの様な雲海は初めて見ました。

その後、「船津お胎内」へ行きましたが、私は体力に自信が無いので皆さんより一足先に温泉でリフレッシュしました。

今年も楽しい富士山例会に出席できたことに感謝です。



ひよこのつぶやき vol.280

柴田 弘子

9月10日（木）成田空港からカナダ・イエローナイフへ出発しました。イエローナイフまではエア・カナダを利用しバンクーバー経由で約15時間の旅です。日本と現地の時差は約16時間、イエローナイフは日本より16時間遅れています。

参加した6日間のツアーには計4回のオーロラ観賞が含まれており、每晚22時にホテルを出発し、約30分かけてオーロラビレッジという観賞地へバスで向かいます。出発日もホテル到着後に、1回目のオーロラ観賞が用意されていました。私達が選んだ出発日の9月10日は新月で、バスで向かう道中はライトもなく真っ暗。車

内ではオーロラやオーロラビレッジでの過ごし方の説明を受け、オーロラへの期待に益々胸が膨らみました。

いよいよオーロラビレッジが近づいて来た時、ガイドの方がオーロラを発見！着後バスを降りると車のライトも消され、見上げた空には言葉では表わせないほどの大きく濃いオーロラが出現していました。その後も、オーロラは漆黒の空の至る所で渦を巻いて立ち昇るように変化したり、神秘的なカーテン状にユラユラと揺れるなど、約3時間の観賞中、絶えず色や形状を変え出現しつづけました。まるで舞っているかのような様子は、想像以上に本当に本当に素晴らしい眺めでした。

先住民の間では、オーロラの出現は「先祖や亡くなった大切な人たちの魂が夜空で幸せに踊っている姿で、自分たちを見守ってくれる先祖からの守護や励ましの光」とであると古くから信じられているという話を聞きました。この初日の晩の強いオーロラの光は、大いなる喜びであり強い励ましであったのかもしれません。

2回目のオーロラ観賞は、前日ほどではなかったものの、空には見たことがないほどの満天の星空が輝き、これも大変素晴らしかったです。3回目は雨、4回目は曇りで残念ながらオーロラを見ることは出来ませんでした。初日のオーロラは、肉眼では緑・ピンク・青に見えましたが、ほとんどのオーロラは白い靄のように感じます。カメラを通して見る方がより鮮明に見ることができました。

4日間の滞在中、昼間はイエローナイフ市内観光で「ノースウェスト準州議事堂」や博物館を見学したり、ホテル近くの湖畔の散歩道を歩き、黄葉を楽しみました。地元の人で賑わっていたレストランの食事はどの料理も美味しく、初めて食べたバッファローのお肉は柔らかく味わいのあるステーキでした。

今回の旅行は娘の「行きます」の一言で出掛けることになりましたが、子供のころからのオーロラを見るという夢が叶い、何の心配もなくとても良い思い出になりました。

9月第二例会報告

今村 由紀

日 時：9月29日（火）17：00～18：30
場 所：山手センター205
出席者：大谷、大森、御園生、今村、計4名
以下が確認、決定されました。

① 26年―27年度サンライズ行事予定について

- 10月8日（木）第一例会
- 10月10日（土）東広島クラブ主催 西中国部会
- 10月17日（土）～18日（日）ブルー・ミュージック・キャンプファイヤー
（受付などの人手がいるため、舎生に声をかける。）
- 10月30日（金）埼玉ワイズメンズクラブ50周年記念会
- 11月12日（木）第一例会
- 12月5日「京都プリンス40周年」、12日は「あずさ部会」があり、山中クリスマスと重なるため、山中クリスマスは今年は中止と決定。
- 2月9日（火）学舎との鍋例会（11日から変更）（祝日のため）
2月18日（木）第二例会（23日から変更）（祝日のため）

山中湖センターの様子

荒木 暁

9月の山中湖は長雨が続き、湖畔の水位も上がってきました。湖畔でのプログラムはまだ続くため、今だけはこれ以上水位が上がらないでほしいと、身勝手ながら願っています。けれども、自然は人の都合を待ってはくれません。私たちは自然に生かされているのだと、つくづく実感します。

今年は昨年より気温が低い日が多く、台風や災害も目立ちました。毎年のように口にしている「異常気象」が、当たり前になってしまうのではないかと不安になります。人のわがままで地球のバランスが崩れているのかもしれないと思うと、微々たる力ではあっても、自然にやさしい暮らしを心がけていきたいと感じます。

今年も百日紅（さるすべり）の花が咲き乱れ、夏のあいだ聞こえなかったフクロウの声も、再び聞こえるようになりました。山中湖センターには、私がまだ知らない素

晴らしい自然がたくさんあります。ぜひ山中湖センターに足を運んで、日常とは違う時間を感じていただきたいです。そのためにも、自然に恩返しできる行動を、あらためて見つめ直していきたいと思います。

YMCA ニュース

山手センター 杉田 裕樹

▽「熊本地震 YMCA 緊急支援について」

熊本地震被災地支援として八代市の避難所運営支援を継続しており、12月末頃まで交替でスタッフ派遣を行います。9月19日～21日には、阿蘇キャンプにて八代市の小中学生を対象とした第1回リフレッシュキャンプ「あおぞらキャンプ」が実施され、東京YMCAからユースリーダー3名が参加しました。また、10月2日19時より「熊本地震被災地支援活動報告会」をオンラインで開催いたします。

緊急支援募金は継続して行っています。ご支援のほどお願い申し上げます。

https://tokyo.ymca.or.jp/news/images/kumamoto_bo kin_20260730.pdf

【募金の使途】

- ・被災地および近隣YMCAと協働して行う、熊本地震の被害を受けた地域への支援活動
- ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動

【募金の送金先】

各YMCAの窓口へ直接お持ちいただくか、以下にお振込みください。

●銀行振込：三菱UFJ銀行 神保町支店（店番013）

普通：2304804 ザイ）トウキョウワイエムシイエイ

※お振り込みの際はお名前の後に「クマモト」とご入力ください

●web募金は[こちら⇒](#)（クレジットカード払い）

【お問い合わせ】

東京YMCA 会員事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館6階

TEL：03-6278-9071

kaiin@tokyoymca.org

▽インターナショナル・チャリティーランご報告

9月26日（土）に小雨が降る中ではありましたが、「第40回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2026」が都立木場公園で開催されました。当日は、48チーム288人のランナーが参加した他、子どもたち、ボランティア、スタッフなど合わせて約1,100名が集いました。益金は4,816,749円となり、東京YMCAと全国YMCAが行う障がい児支援プログラムのために用いさせていただきます。ご支援いただいた山手チーム（チーム名：山手S・W・Tワイズ※）は、健康教育のリーダー2名、野外教育のリーダー2名、山手学舎の舎生2名で編成され、32位となりました。※SWT：S＝サンライズ、

W=ワイドウエスト、T=多摩スマイルの略
なお、40回を記念した全国YMCA一斉オンラインチャリティーウォークを11月29日～12月13日に実施いたします。この機会にぜひ参加お待ちしております。

▽YMCAキッズクラブのぞみ入会説明会のご案内（27年4月開所・世田谷区）〈認可保育所活用型〉

2027年4月、YMCA 保育園ねがい（世田谷区）内に、「YMCA キッズクラブのぞみ」を開所します。

YMCA キッズクラブのぞみは、一人ひとりの声や「やってみたい」という気持ちを大切にする放課後児童クラブ（学童クラブ）です。

放課後は、子どもたちにとって学校で過ごした一日の緊張から解放され、ほっとできる大切な時間です。安心して休んだり、自由に遊んだり、仲間と出会ったり。子ども自身が「遊ぶ・休む・見る・やってみる」を選びながら、ありのままの自分でいられる居場所をともにつくっていきます。

また、YMCA のネットワークを生かし、自然・野外活動、国際交流、地域との交流、SDGs・子どもアクション、チャリティ・社会参加、工作や音楽、スポーツなど、多様な体験の機会も予定しています。



▽【侍ジャパン U-18 代表選手】キャナルコート保育園を訪問

一般社団法人日本野球機構と公益財団法人日本高等学校野球連盟による「キッズファーストアクション」として、8月31日、キャナルコート保育園にて侍ジャパン U-18 選手 18 名と 5 歳児 19 名との交流会を実施した。選手の

丁寧な指導のもと、野球あそび体験などを通して体を動かす楽しさを共有した。園児にとって運動やスポーツに触れる体験となっただけでなく、指導する立場となった高校生選手にとっても成長の機会となり、双方にとって意義深い交流となった。

今後の主な行事予定



・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」（横浜YMCA 共催）10月24日（横浜外国人墓地）

・「第28回愛恵エッセイ」11月13日まで作品募集（愛恵福祉支援財団との共催）

テーマ：豊かな福祉社会を創るために-私たちが今、できること-

・「第24回日本YMCA大会」11月27日～29日（日本YMCA 同盟東山荘）

テーマ：Evolving Together

・「YMCA/YWCA 合同祈祷週礼拝」11月12日（山手センター）

・「国際協力一斉街頭募金」11月14日 新宿駅周辺

・「賛助会年会・アドバイザー会」11月16日（アルカディア市ヶ谷）

・「全国YMCA オンラインチャリティーウォーク」11月29日～12月13日

編集後記

ブリテン 10月号をお届けします。9月は雨の多い日が続き、洗濯に困った方も多いのではないのでしょうか。台風も次々と発生し、今までにない異常気象でした。10月の半ばからはようやく秋らしいお天気になりそうです。本格的な冬が訪れるまでの間、行楽の秋を楽しんでください。